

目次		
序文(林 武)...	iii
はじめに(旗手 勲)...	3
第1章 日本農業の近代化過程における水利		
の役割(玉城 哲)...	7
I 17世紀における新田開発と水利土木技術	7
(1) 人口爆発と新田開発	7
(2) 土木技術の発達と大規模灌漑システムの形成	10
(3) 米と貨幣の経済	13
II 18世紀以降における水利制度と村落	15
(1) 資源制約の発生と紛争	15
(2) 用水統制秩序の形成	16
(3) 用水組合と用水慣行	19
(4) 用水権の成立	21
(5) 村落の定着と農業の集約化	24
III 明治維新以後の近代化過程と農業水利	26
(1) 土地私有制度の確立と農業水利	26
(2) 制度の重層化	28
(3) ヨーロッパ技術の受容	29
(4) 大規模用排水事業の出現——国家介入の意義——	32

(5) 小農経営の発展と水利改良.....	34
IV 第2次大戦後の制度改革・近代化と農業水利	35
(1) 「戦後改革」の意義	35
(2) 土地改良制度の整備.....	37
(3) 工業化の進行と農業近代化.....	40
(4) 農業水利施設の近代化.....	44
(5) 農業生産構造の変化と農業水利.....	46
V 総 括	48
第2章 水利開発史をめぐる技術と推進者 (旗手 勲)...	55
I 日本における水利技術の特徴	55
(1) 日本の水利開発と小農.....	55
(2) 水利技術をめぐる導入と普及.....	56
II 日本的な水利開発の展開	58
(1) 河川の開発と封建的統一.....	59
(2) 日本的な水利技術の展開.....	61
(3) 日本的な水利開発の特徴.....	65
III 近代日本の水利改良	68
(1) 日本資本主義の発足と土地改良.....	69
(2) 水利技術をめぐる伝統と近代.....	71
(3) 日本資本主義の展開と土地改良.....	76
(4) 日本資本主義の転換と土地改良.....	80
第3章 土地改良政策の展開過程.....(今村奈良臣)...	89
I 時期区分と制度変遷の概観	89
II 水利組合法と耕地整理法の制定.....	92
(1) 士族授産開墾と農民的土地改良.....	92
(2) 水利組合法の制定.....	93
(3) 耕地整理法の制定と改正.....	95

III	土地改良事業への国家の登場	97
(1)	農業政策の多面的展開	97
(2)	国家資金投入の制度の確立	98
(3)	農業恐慌と土地改良事業	101
(4)	戦時経済と土地改良政策	102
IV	農地改革と土地改良法の制定	103
(1)	農地改革とその成果	103
(2)	土地改良法の制定とその特徴	105
(3)	食糧危機と緊急開拓	107
(4)	食糧増産政策と土地改良	107
(5)	土地改良事業費の推移と特徴	109
V	農業基本法の制定と土地改良政策	113
(1)	農業基本法の制定	113
(2)	土地改良制度の改正	115
(3)	米の過剰と総合農政への転換	117
(4)	土地改良事業の進展と多様化	118
(5)	土地改良事業費の推移と特徴	120
(6)	土地改良事業費の負担構成——政府と農民——	122
VI	土地改良政策の当面する課題	126
	むすび	128

第4章 土地改良事業の展開と農業生産力

の形成メカニズム.....(永田恵十郎) ... 129

I	農業生産力形成における土地改良投資の役割	129
(1)	アダム・スミスの水田農業観	129
(2)	日本における土地改良投資の歴史的動向と 稲作生産力の到達水準	133
II	土地改良事業の展開と農業生産力の形成過程	135
(1)	地主主導型耕地整理事業の出発と伝統的稲作技術の改善	135

(2) 国家主導型用排水改良事業の登場と稲作生産力の前進.....	142
(3) 戦後段階における稲作生産力の形成と土地改良事業.....	149
III 農業生産力の新しい発展方向と水・土地利用の今後の課題 ...	156
(1) 圃場整備・稲作機械化段階における農業生産力の発展方向.....	156
(2) 水田利用の高度化と今後の農業水利システム像.....	160
第5章 クリーク灌漑と地域社会.....(陣内義人)...	169
I 日本農業の再編成と電気灌漑事業.....	169
II 三つの電気灌漑事業	178
III 電気灌漑事業と地域社会	190
IV 農村における組織体制の整備.....	198
(1) 地方官庁の勸農体制.....	201
(2) 農事試験場の調査研究と技術普及体制.....	203
(3) 県農会の活動.....	204
第6章 北海道「大正用水」灌漑地域の 稲作展開の特色と現状	(七戸長生) ... 209
I 序 説—北海道における稲作水利の展開経過の概括—.....	209
(1) 北海道農業の基本的特質の形成.....	209
(2) 北海道における稲作ならびに水利の展開.....	213
(3) 調査対象地—深川—の概要.....	220
II 「大正用水」の形成発展とその特色	225
(1) 深川土功組合設立の推進主体.....	225
(2) 水利組織の構造と特質.....	227
(3) 水利組織と集落との関連.....	231
III 最近における稲作生産力展開と水利条件	234
(1) 稲作生産力展開の概要.....	234
(2) 基盤整備実施以前の用水利用の特色.....	237
(3) 基盤整備実施後の生産力展開.....	241

IV 水田転作と水利体系	242
(1) 水田転作への対応経過の概況.....	242
(2) 転作圃場と水利条件.....	245
(3) 水田転作と水利組織の再編の必要性.....	247
V 総 括 —北海道における稲作水利の特質—	250
第7章 自然としての土地から商品としての土地へ	
—市場経済の発展を可能とした日本の条件—	
.....(友 杉 孝)...	253
はじめに	253
I 水田社会の形成	255
II 水田社会の維持	262
III 水田社会を変える力	270
IV 市場社会のなかの水田社会	279
第8章 灌漑開発の視点	
—アジアの中の日本—	
.....(平 島 成 望)...	285
はじめに	285
I 灌漑用水の特性	286
II 灌漑開発の視点	289
(1) 灌漑投資の方向性.....	289
(2) 灌漑投資の主体.....	290
(3) 灌漑施設の操作, 維持・管理の主体.....	290
III 灌漑開発におけるアジアの中の日本	292
(1) 灌漑開発の地方分権化.....	293
(2) 村落共同体と水管理.....	294
(3) 強固な水利権意識.....	295
(4) 灌漑と土地改良.....	296
(5) 生産性格差と灌漑.....	296

IV	灌漑開発の課題—途上国の経験	298
	(1) 低い投下資本の回収率	298
	(2) 灌漑投資と地代の平準化	299
	(3) 灌漑における地下水の役割	301
	(4) 資源の有効利用と用水価格	302
	(5) 用水管理における伝統と近代	304
	むすびにかえて	307
終 章	発展途上国への寄与の視角 (今村奈良臣)...	309
I	報告書の視角	309
II	発展途上国の内包する問題点	309
III	「日本の経験」とその意義	310
	むすび	311
	近代土地改良関係年表	313